

平成29年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について

平成29年度（平成28年7月1日～平成29年6月30日）実績報告より

	先進医療A	先進医療B	計
① 先進医療技術数 （平成29年6月30日現在）	35種類	67種類	102種類
② 実施医療機関数 （平成29年6月30日現在）	761施設※1	241施設※1	885施設※2
③ 全患者数	31, 893人	1, 091人	32, 984人
④ 総金額（⑤＋⑥）	約259億円	約18. 7億円	約277. 7億円
⑤ 保険外併用療養費の総額（保険診療分）	約58. 1億円	約12. 5億円	約70. 6億円
⑥ 先進医療費用の総額	約200. 9億円	約6. 2億円	約207. 2億円
⑦ 全医療費のうち先進医療分の割合（⑥／④）	77. 6%	33. 5%	74. 6%

※1 1施設で複数の先進医療技術を実施している場合でも、1施設として計上している。

※2 1施設で第2項先進医療（先進医療A）と第3項先進医療（先進医療B）の両方を実施している場合でも、1施設として計上している。

平成29年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について
平成29年度（平成28年7月1日～平成29年6月30日）実績報告等より

	先進医療A	先進医療B	計
① 先進医療技術数（平成28年6月30日現在）	40種類	60種類	100種類
② 新規承認技術数	—	15種類	15種類
③ 保険収載技術数	1種類	—	1種類
④ 実施取り下げ技術数	—	8種類	8種類
⑤ 削除技術数	4種類	—	4種類
⑥ 先進医療技術数（平成29年6月30日現在）	35種類	67種類	102種類
⑦ 総括報告書受理数	—	3種類	3種類

< 過去5年間の実績 >

	実績報告 対象期間	技術数	実施医療 機関数	全患者数	総金額	保険外併用 療養費の総額 (保険診療分)	先進医療に 係る費用の 総額	全医療費のうち 先進医療に係る 費用の割合
平成25年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績	H24.7.1～H25.6.30 (12ヵ月)	107	604施設	20,665人	約204億円	約71億円	約133億円	65.3%
平成26年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績※1	H25.7.1～H26.6.30 (12ヵ月)	95	571施設	23,925人	約247億円	約73億円	約174億円	70.5%
平成27年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績	H26.7.1～H27.6.30 (12ヵ月)	108	786施設	28,153人	約295億円	約90億円	約205億円	69.5%
平成28年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績※2	H27.7.1～H28.6.30 (12ヵ月)	100	876施設	24,785人	約272億円	約86億円	約186億円	68.5%
平成29年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績	H28.7.1～H29.6.30 (12ヵ月)	102	885施設	32,984人	約278億円	約71億円	約207億円	74.6%

※1 平成26年度診療報酬改定の際、一部の技術が保険導入又は廃止されたことに留意する必要がある。

※2 平成28年度診療報酬改定の際、一部の技術が保険導入又は廃止されたことに留意する必要がある。

平成29年6月30日時点における先進医療Bに係る費用

平成29年度実績報告(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

告示 番号	先進医療技術名 (適応症)	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年間 実施件数 (件)	1件あたりの 先進医療費用 (円)	実施 医療機関数 (機関数)
1	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 (腹膜播種又は進行性胃がん)	平21. 12. 1	25,722,623	3,573,822	8.8	24	148,909	11
2	経カテーテル大動脈弁植込み術 (弁尖の硬化変性に起因する重度大動脈弁狭窄症)	平22. 4. 1	-	-	-	-	-	-
3	パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 (上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん)	平22. 5. 1	26,647,378	5,472,433	24.5	20	273,622	12
4	十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法 (ホルモン不応性再燃前立腺がん)	平22. 6. 1	-	-	-	-	-	-
5	経胎盤的抗不整脈薬投与療法 (胎児頻脈性不整脈)	平22. 7. 1	11,011,532	544,752	76.5	4	136,188	4
7	重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植 (重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病)	平22. 11. 1	15,290,902	11,008,038	38.7	3	3,669,346	1
10	培養骨髓細胞移植による骨延長術 (骨系統疾患)	平23. 11. 1	-	-	-	-	-	-
11	NKT細胞を用いた免疫療法 (肺がん)	平24. 1. 1	-	-	-	-	-	-
12	ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 (肺がん)	平24. 1. 1	56,093,740	19,172,696	26.7	19	1,009,089	15
13	ゾレドロン酸誘導 γ δ T細胞を用いた免疫療法 (非小細胞肺がん)	平24. 6. 1	-	-	-	-	-	-
14	コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法 (コレステロール塞栓症)	平24. 11. 1	6,934,589	1,816,227	40.3	4	454,057	4
16	NKT細胞を用いた免疫療法 (頭頸部扁平上皮がん)	平25. 3. 1	6,089,329	2,190,000	8.0	6	365,000	1
17	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髓細胞投与療法 (C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変)	平25. 6. 1	-	-	-	-	-	-
18	自己口腔粘膜及び羊膜を用いた培養上皮細胞シートの移植術 (スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡又は熱・化学腐食に起因する難治性の角結膜疾患)	平25. 7. 1	14,723,410	9,492,000	41.8	4	2,373,000	1
20	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 (早期乳がん)	平25. 8. 1	54,982,748	16,711,018	5.4	109	153,312	8
21	インターフェロン α 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 (成人T細胞白血病リンパ腫)	平25. 8. 1	14,733,129	11,652,417	3.4	9	1,294,713	6
22	冠動脈又は末梢動脈に対するカテーテル治療におけるリーナルガードを用いた造影剤腎症の発症抑制療法 (腎機能障害を有する冠動脈疾患)	平25. 10. 1	2,795,038	56,000	7.0	2	28,000	1
23	トレミキシンを用いた吸着式血液浄化療法 (特発性肺線維症)	平26. 1. 1	18,934,882	2,712,000	30.5	6	452,000	2
24	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 (早期胃がん)	平26. 1. 1	29,766,077	1,100,450	16.6	18	61,136	5

告示 番号	先進医療技術名 (適応症)	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平 均 入院期間 (日)	年 間 実施件数 (件)	1件あたりの 先進医療費用 (円)	実施 医療機関数 (機関数)
25	オクトレオチド皮下注射療法 (先天性高インスリン血症)	平26. 1. 1	5,447,509	5,410,269	-	1	5,410,269	1
26	アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法 (急性脳梗塞)	平26. 5. 1	54,570,827	3,485,382	27.1	37	94,200	18
28	放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後の テモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びに テモゾロミド内服投与の維持療法 (初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫)	平26. 6. 1	88,194,447	34,436,699	41.6	30	1,147,890	20
29	FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 による不明熱の診断 (不明熱)	平26. 6. 1	67,753,827	3,733,441	29.5	54	69,138	11
30	FDGを用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病 の診断 (アルツハイマー病)	平26. 8. 1	2,257,679	1,721,589	0.0	25	68,864	7
31	全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療 におけるクロビドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム 及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死 発症抑制療法 (全身性エリテマトーデス)	平26. 8. 1	3,660,740	98,000	42.0	2	49,000	1
32	術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内 投与並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の 併用療法 (根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がん)	平26. 8. 1	28,358,425	1,701,201	16.7	17	100,071	8
33	NKT細胞を用いた免疫療法 (肺がん)	平26. 9. 1	83,443,847	76,992,839	2.0	43	1,790,531	10
34	ベベルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 (閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病)	平26. 9. 1	17,689,552	15,437,300	10.4	7	2,205,329	5
35	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術 (根治切除が可能な胃がん)	平26. 10. 1	213,039,148	126,809,676	13.4	117	1,083,843	13
36	腹膜偽粘液腫に対する完全減量切除術における術中の マイトマイシンC腹腔内投与及び術後のフルオロウラシル 腹腔内投与の併用療法 (腹膜偽粘液腫)	平26. 11. 1	95,761,360	1,684,750	38.9	23	73,250	1
37	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による 再発の診断 (頭頸部腫瘍)	平26. 12. 1	23,670,364	1,608,000	18.9	14	114,857	2
38	術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及び トラスツズマブ静脈内投与の併用療法 (切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん)	平26. 12. 1	8,962,010	3,046,635	32.8	5	609,327	4
39	上肢カッピングガイド及び上肢カスタムメイドプレート を用いた上肢骨変形矯正術 (骨端線障害若しくは先天奇形に起因する上肢骨)	平27. 1. 1	-	-	-	-	-	-
40	リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸 モフェチル経口投与による寛解維持療法 (特発性ネフローゼ症候群)	平27. 2. 1	57,688,093	25,949,149	3.3	50	518,983	20
42	ステロイドパルス療法及びリツキシマブ静脈内投与の 併用療法 (特発性ネフローゼ症候群)	平27. 4. 1	701,066	258,538	5.0	2	129,269	1
44	周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法 (非小細胞肺癌)	平27. 6. 1	170,147,642	11,087,340	13.9	82	135,211	10
45	コラーゲン半月板補填材を用いた半月板修復療法 (半月板損傷)	平27. 7. 1	5,385,388	1,047,748	32.5	4	261,937	1
46	LDLアフェレンシス療法 (閉塞性動脈硬化症)	平27. 11. 1	9,779,717	5,314,625	26.6	5	1,062,925	1

告示 番号	先進医療技術名 (適応症)	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平 均 入院期間 (日)	年 間 実施件数 (件)	1件あたりの 先進医療費用 (円)	実施 医療機関数 (機関数)
47	自己心膜及び弁形成リングを用いた僧帽弁置換術 (僧帽弁閉鎖不全症)	平28. 1. 1	23,996,858	3,060,000	43.7	3	1,020,000	2
48	骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法 (腫瘍、顎骨骨髓炎、外傷等の疾患による広範囲の 顎骨又は歯槽骨欠損)	平28. 1. 1	1,834,739	1,171,899	15.0	1	1,171,899	1
49	テモゾロミド用量強化療法 (膠芽腫)	平28. 1. 1	1,026,187	999,997	—	2	499,999	2
50	ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 (再発翼状片)	平28. 1. 1	1,395,404	1,005,344	2.3	4	251,336	1
51	多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療 (褥瘡又は難治性皮膚潰瘍)	平28. 1. 1	351,212	331,680	1.0	4	82,920	1
52	mFOLFOX6及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 (胃がん)	平28. 1. 1	105,329,803	18,843,142	66.8	33	571,004	11
53	131I-MIBGを用いた内照射療法 (難治性褐色細胞腫)	平28. 2. 1	24,671,694	12,292,300	14.3	17	723,076	4
54	FOLFIRINOX療法 (胆道がん)	平28. 2. 1	4,422,170	198,000	21.3	3	66,000	1
55	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 (子宮頸がん)	平28. 4. 1	54,456,241	34,280,370	11.9	27	1,269,643	5
56	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 (初発の神経膠腫が疑われるもの)	平28. 4. 1	33,690,628	2,854,000	17.8	24	118,917	2
57	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 (胸髄損傷)	平28. 4. 1	3,356,270	1,200,000	36.0	2	600,000	1
58	陽子線治療 (肝細胞がん)	平28. 6. 1	34,623,004	31,041,000	16.2	11	2,821,909	5
59	重粒子線治療 (肝細胞がん)	平28. 6. 1	13,461,720	12,303,000	9.5	4	3,075,750	3
60	アキシチニブ単剤投与療法 (胆道がん)	平28. 6. 1	11,086,410	9,670,880	—	16	604,430	3
61	重粒子線治療 (非小細胞肺癌がん)	平28. 7. 1	29,344,510	28,260,000	3.1	9	3,140,000	3
62	切除支援のための気管支鏡下肺マーキング法 (微小肺病変)	平28. 9. 1	232,396,015	2,635,390	9.3	154	17,113	17
63	ゲムシタビン静脈内投与及び重粒子線治療の併用療法 (膵臓がん)	平28. 10. 1	29,600,914	25,120,000	20.9	8	3,140,000	3
64	ゲムシタビン静脈内投与、ナブーパクリタキセル静脈内投与 及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 (腹膜播種を伴う膵臓がん)	平28. 10. 1	—	—	—	—	—	—
65	治療抵抗性の子宮頸がんに対するシスプラチンによる 閉鎖循環下骨盤内非均衡灌流療法 (子宮頸がん)	平28. 11. 1	3,907,626	2,017,270	8.0	2	1,008,635	1
66	陽子線治療 (肝内胆管がん)	平28. 11. 1	—	—	—	—	—	—
67	ヒドロキシクロロキン療法 (関節リウマチ)	平28. 11. 1	830,943	355,183	—	5	71,037	1
68	水素ガス吸入療法 (心停止後症候群)	平28. 12. 1	8,171,027	1,557,980	37.0	2	778,990	1
69	ヒトIL-11製剤を用いた心筋保護療法 (ST上昇型急性心筋梗塞)	平29. 1. 1	—	—	—	—	—	—
70	重粒子線治療 (前立腺がん)	平29. 1. 1	29,278,810	28,260,000	4.9	9	3,140,000	2

告示 番号	先進医療技術名 (適応症)	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平 均 入院期間 (日)	年 間 実施件数 (件)	1件あたりの 先進医療費用 (円)	実施 医療機関数 (機関数)
71	トラスツズマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法 (乳房外パジェット病)	平29. 2. 1	543,528	307,438	1.0	3	102,479	1
72	術後のカベシタピン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 (小腸腺がん)	平29. 4. 1	-	-	-	-	-	-
73	S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 (膵臓がん)	平29. 4. 1	-	-	-	-	-	-
74	S-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 (腹膜播種を伴う初発の胃がん)	平29. 4. 1	2,276,480	78,100	12.0	2	39,050	1
75	陽子線治療 (根治切除が可能な肝細胞がん)	平29. 6. 1	-	-	-	-	-	-
合 計			1,870,289,211	623,168,007		1,091	571,190	277

※未実施により実績報告がないものは「-」としている。

平成29年6月30日時点における先進医療Bの
終了予定日、計画時患者数、登録症例数、協力医療機関数及び年間実施件数

告示 番号	先進医療技術名 (適応症)	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時 患者数	登録症 例数	協力医療 機関数	年間実施件数 (平成28年7月～ 平成29年6月ま での実績) (再掲)
1	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 (腹膜播種又は進行性胃がん)	東京大学医学部附属病院	平21. 12. 1	平29. 11. 30	120	122	29	24
2	経カテーテル大動脈弁縮込み術 (弁尖の硬化変性に起因する重度大動脈弁狭窄症)	大阪大学医学部附属病院	平22. 4. 1	平30. 3. 31	76	64	-	-
3	パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 (上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん)	埼玉医科大学国際医療センター	平22. 5. 1	平31. 11. 30	654	655	49	20
4	十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテラーメイドのがんワクチン療法 (ホルモン不応性再発前立腺がん)	久留米大学病院	平22. 6. 1	平30. 5. 31	91	69	6	-
5	経胎盤の抗不整脈薬投与療法 (胎児頻脈性不整脈)	国立循環器病研究センター病院	平22. 7. 1	平33. 3. 31	50	50	14	4
7	重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植 (重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病)	公立大学法人 福島県立医科大学附属病院	平22. 11. 1	平33. 5. 20	20	8	5	3
10	培養骨髓細胞移植による骨延長術 (骨系統疾患)	名古屋大学医学部附属病院	平23. 11. 1	平29. 3. 31	30	31	-	-
11	NKT細胞を用いた免疫療法 (肺がん)	千葉大学医学部附属病院	平24. 1. 1	平29. 12. 31	35	35	-	-
12	ペトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 (肺がん)	静岡県立静岡がんセンター	平24. 1. 1	平33. 12. 31	800	804	49	19
13	ゾレドロン酸誘導γδT細胞を用いた免疫療法 (非小細胞肺がん)	東京大学医学部附属病院	平24. 6. 1	平31. 6. 30	85	17	1	-
14	コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法 (コレステロール塞栓症)	独立行政法人地域医療機能 推進機構 仙台病院	平24. 11. 1	平31. 12. 31	35	24	13	4
16	NKT細胞を用いた免疫療法 (頭頸部扁平上皮がん)	千葉大学医学部附属病院	平25. 3. 1	平32. 3. 31	66	23	-	6
17	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髓細胞投与療法 (C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変)	山口大学医学部附属病院	平25. 6. 1	平31. 3. 31	34	3	-	-
18	自己口腔粘膜及び羊膜を用いた培養上皮細胞シートの移植術 (スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡又は熱・化学腐食に起因する難治性の角結膜疾患)	京都府立医科大学附属病院	平25. 7. 1	平29. 9. 30	30	24	1	4
20	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 (早期乳がん)	国立がん研究センター中央病院	平25. 8. 1	平35. 7. 31	372	340	9	109
21	インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 (成人T細胞白血病リンパ腫)	国立がん研究センター東病院	平25. 8. 1	平33. 9. 30	74	31	36	9
22	冠動脈又は末梢動脈に対するカテーテル治療におけるリーナルガードを用いた造影剤腎症の発症抑制療法 (腎機能障害を有する冠動脈疾患)	国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院	平25. 10. 1	平28. 9. 30	60	60	1	2
23	トレミキシムを用いた吸着式血液浄化療法 (特発性肺線維症)	日本医科大学付属病院	平26. 1. 1	平30. 6. 30	20	18	1	6
24	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 (早期胃がん)	慶應義塾大学病院	平26. 1. 1	平35. 5. 26	225	32	7	18
25	オクトレオチド皮下注射療法 (先天性高インスリン血症)	大阪市立総合医療センター	平26. 1. 1	平31. 3. 31	7	5	2	1
26	アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法 (急性脳梗塞)	国立循環器病研究センター病院	平26. 5. 1	平32. 3. 31	300	93	36	37
28	放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 (初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫)	埼玉医科大学国際医療センター	平26. 6. 1	平39. 8. 31	130	35	29	30
29	FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断 (不明熱)	国立国際医療研究センター病院	平26. 6. 1	平31. 3. 31	180	141	16	54

告示 番号	先進医療技術名 (適応症)	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時 患者数	登録症 例数	協力医療 機関数	年間実施件数 (平成28年7月～ 平成29年6月ま での実績) (再掲)
30	FDGを用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病の診断 (アルツハイマー病)	国立長寿医療研究センター	平26. 8. 1	平31. 3. 31	190	78	10	25
31	全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療 におけるクロビドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム 及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死 発症抑制療法 (全身性エリテマトーデス)	九州大学病院	平26. 8. 1	平31. 3. 31	150	5	3	2
32	術前のTS-1内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与と 並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 (根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がん)	近畿大学医学部附属病院	平26. 8. 1	平34. 1. 31	50	51	16	17
33	NKT細胞を用いた免疫療法 (肺がん)	国立病院機構 名古屋医療センター	平26. 9. 1	平32. 3. 31	56	49	14	43
34	ベベルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 (閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病)	大阪大学医学部附属病院	平26. 9. 1	平29. 8. 31	6	6	5	7
35	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下胃切除術 (根治切除が可能な胃がん)	藤田保健衛生大学病院	平26. 10. 1	平32. 3. 31	330	330	13	117
36	腹膜偽粘液腫に対する完全減量切除術における術中の マイトマイシンC腹腔内投与及び術後のフルオロウラシル 腹腔内投与の併用療法 (腹膜偽粘液腫)	国立国際医療研究センター病院	平26. 11. 1	平36. 7. 31	75	75	－	23
37	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 (頭頸部腫瘍)	北海道大学病院	平26. 12. 1	平30. 3. 31	99	43	1	14
38	術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及び トラスツマブ静脈内投与の併用療法 (切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん)	静岡県立静岡がんセンター	平26. 12. 1	平38. 3. 31	130	13	48	5
39	上肢カッピングガイド及び上肢カスタムメイドプレートを用いた 上肢骨変形矯正術 (骨端線障害若しくは先天奇形に起因する上肢骨)	大阪大学医学部附属病院	平27. 1. 1	平29. 7. 31	16	17	1	－
40	リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル 経口投与による寛解維持療法 (特発性ネフローゼ症候群)	神戸大学医学部附属病院	平27. 2. 1	平32. 1. 31	80	58	26	50
42	ステロイドパルス療法及びリツキシマブ静脈内投与の併用療法 (特発性ネフローゼ症候群)	国立成育医療研究センター	平27. 4. 1	平31. 6. 30	20	2	－	2
44	周術期カルベリチド静脈内投与による再発抑制療法 (非小細胞肺がん)	大阪大学医学部附属病院	平27. 6. 1	平34. 10. 31	500	335	9	82
45	コラーゲン半月板補填材を用いた半月板修復療法 (半月板損傷)	大阪大学医学部附属病院	平27. 7. 1	平32. 12. 31	35	5	－	4
46	LDLアフェレシス療法 (閉塞性動脈硬化症)	横浜市立大学附属病院	平27. 11. 1	平32. 10. 31	35	5	－	5
47	自己心膜及び弁形成リングを用いた僧帽弁置換術 (僧帽弁閉鎖不全症)	日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院	平28. 1. 1	平35. 12. 31	25	4	2	3
48	骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法 (腫瘍、顎骨骨髄炎、外傷等の疾患による広範囲の顎骨又 は歯槽骨欠損)	名古屋大学医学部附属病院	平28. 1. 1	平34. 7. 22	83	1	－	1
49	テモゾロミド用量強化療法 (膠芽腫)	杏林大学医学部付属病院	平28. 1. 1	平35. 3. 31	210	5	22	2
50	ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 (再発翼状片)	富山大学附属病院	平28. 1. 1	平30. 11. 30	40	5	－	4
51	多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療 (褥瘡又は難治性皮膚潰瘍)	聖マリアンナ医科大学病院	平28. 1. 1	平32. 6. 30	23	4	3	4
52	mFOLFOX6及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 (胃がん)	東京大学医学部附属病院	平28. 1. 1	平31. 1. 1	34	36	20	33
53	131I-MIBGを用いた内照射療法 (難治性褐色細胞腫)	金沢大学附属病院	平28. 2. 1	平29. 10. 31	20	20	3	17
54	FOLFIRINOX療法 (胆道がん)	東京大学医学部附属病院	平28. 2. 1	平31. 6. 20	35	3	－	3
55	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術 (子宮頸がん)	東京医科大学病院	平28. 4. 1	平36. 9. 30	100	27	6	27
56	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 (初発の神経膠腫が疑われるもの)	北海道大学病院	平28. 4. 1	平30. 9. 31	46	30	1	24
57	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 (胸髄損傷)	大阪大学医学部附属病院	平28. 4. 1	平31. 3. 31	10	3	－	2
58	陽子線治療 (肝細胞がん)	北海道大学病院	平28. 6. 1	平34. 5. 31	180	11	10	11

告示 番号	先進医療技術名 (適応症)	申請医療機関名	適用年月日 (再掲)	終了予定日	計画時 患者数	登録症 例数	協力医療 機関数	年間実施件数 (平成28年7月～ 平成29年6月ま での実績) (再掲)
59	重粒子線治療 (肝細胞がん)	群馬大学医学部附属病院	平28. 6. 1	平35. 6. 1	130	5	3	4
60	アキシチニブ単剤投与療法 (胆道がん)	杏林大学医学部付属病院	平28. 6. 1	平30. 9. 31	32	16	5	16
61	重粒子線治療 (非小細胞肺がん)	九州国際重粒子線 がん治療センター	平28. 7. 1	平35. 3. 31	150	10	3	9
62	切除支援のための気管支鏡下肺マーキング法 (微小肺病変)	東京大学医学部附属病院	平28. 9. 1	平29. 7. 31	160	162	17	154
63	ゲムシタビン静脈内投与及び重粒子線治療の併用療法 (膵臓がん)	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所病院	平28. 10. 1	平32. 9. 30	82	9	3	8
64	ゲムシタビン静脈内投与、ナブーパクリタキセル静脈内投与及び パクリタキセル腹腔内投与の併用療法 (腹膜播種を伴う膵臓がん)	東京大学医学部附属病院	平28. 10. 1	平34. 3. 31	35	－	－	－
65	治療抵抗性の子宮頸がんに対するシスプラチンによる 閉鎖循環下骨盤内非均衡灌流療法 (子宮頸がん)	日本医科大学付属病院	平28. 11. 1	平32. 4. 18	27	1	－	2
66	陽子線治療 (肝内胆管がん)	筑波大学附属病院	平28. 11. 1	平34. 10. 31	40	－	10	－
67	ヒドロキシクロロキン療法 (関節リウマチ)	慶應義塾大学病院	平28. 11. 1	平31. 12. 31	120	5	－	5
68	水素ガス吸入療法 (心停止後症候群)	慶應義塾大学病院	平28. 12. 1	平32. 2. 29	360	2	2	2
69	ヒトIL－11製剤を用いた心筋保護療法 (ST上昇型急性心筋梗塞)	大阪市立大学医学部附属病院	平29. 1. 1	平31. 5. 30	90	－	－	－
70	重粒子線治療 (前立腺がん)	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所病院	平29. 1. 1	平35. 12. 31	156	33	3	9
71	トラスツマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の 併用療法 (乳房外パジェット病)	慶應義塾大学病院	平29. 2. 1	平33. 3. 31	13	3	－	3
72	術後のカベシタビン内服投与及びオキサリプラチン 静脈内投与の併用療法 (小腸腺がん)	国立がん研究センター中央病院	平29. 4. 1	平43. 11. 30	150	－	－	－
73	S－1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び 腹腔内投与の併用療法 (膵臓がん)	関西医科大学附属病院	平29. 4. 1	平33. 9. 30	180	－	－	－
74	S－1内服投与、シスプラチン静脈内投与及び パクリタキセル腹腔内投与の併用療法 (腹膜播種を伴う初発の胃がん)	名古屋大学医学部附属病院	平29. 4. 1	平32. 4. 1	50	7	－	2
75	陽子線治療 (根治切除が可能な肝細胞がん)	国立がん研究センター東病院	平29. 6. 1	平41. 12. 1	290	－	－	－

※ 記載のない先進医療技術については、既に先進医療から削除されたものであること。(平成29年6月30日時点)

※ 終了予定日・計画時患者数は、医療機関より提出された実績報告(平成29年6月30日時点)から抽出したものであり、実施計画の変更状況等の反映を踏まえ、今後変更する可能性がある。

1年間(平成28年7月1日～平成29年6月30日)の実施件数が
0件である先進医療技術(先進医療B)に係る医療機関の今後の対応方針等

告示 番号	技術名	申請医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 昨年度の実績 (実施可能である すべての医療 機関の実績)	(参考) 直近5年間又は 承認後の実績 (実施可能である すべての医療 機関の実績)
2	経カテーテル的大動脈弁植込み術 (弁尖の硬化変性に起因する 重度大動脈弁狭窄症)	大阪大学医学部附属病院	慢性透析患者に対する経カテーテル大動脈弁植込み術については、平成28年9月より同内容の企業治験が既に開始しており、今回の期間での新規の患者登録は行われなかった。	同内容の企業治験が開始されたことに加え、平成28年11月28日をもって本試験に登録した全ての患者に関して、観察期間が終了したことから、本先進医療を取り下げる方針とした。	8件	45件
4	十二種類の腫瘍抗原ペプチドによる テラーメイドのがんワクチン療法 (ホルモン不応性再燃前立腺がん)	久留米大学病院	当該試験への参加希望者は数名いたが、適応症(ホルモン不応性再燃前立腺がん(ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA-A24が陽性であるものに係るものに限る。))に該当せず、登録まで至らなかったため	2017年5月31日を以て登録終了となったため特記事項なし	0件	24件
10	培養骨髄細胞移植による骨延長術 (骨系統疾患)	名古屋大学医学部 附属病院	症例登録が終了したため。		0件	15件
11	NKT細胞を用いた免疫療法 (肺がん)	千葉大学医学部附属病院	登録予定症例全例にてNKT細胞を用いた免疫療法を施行し、平成27年8月に治療期間を終了したためである。現在、追跡期間中である。		1件	37件
13	ゾレドロン酸誘導γδT細胞を用いた 免疫療法 (非小細胞肺がん)	東京大学医学部附属病院	平成28年7月28日付、厚生労働省医政局研究開発振興課長 事務連絡「免疫細胞療法と免疫チェックポイント阻害剤との併用について(注意喚起)」及び、平成28年8月1日開催、東京大学認定再生医療等専門委員会における指導を踏まえ、ニボルマブ投与既往歴のある症例へのγδT細胞治療の導入を控えていた。平成28年10月24日開催、東京大学認定再生医療等専門委員会において、被験者の前治療歴を確認の上、ニボルマブ最終投与日からγδT細胞投与開始まで、3ヶ月間のwash-out期間を設定する旨の対策を報告し承認されるまで、組み入れを中断していた。 また、平成28年10月、東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座において培養したγδT細胞に核型異常を認めた。患者の安全性に関わる事象と判断し、平成28年10月24日開催、東京大学認定再生医療等専門委員会へ【特定細胞加工物の製造にかかる安全性情報の報告】として報告し、安全性が確認できるまで、試験を中断し、培養細胞の安全性に関する検討を行った。その結果を平成29年2月13日開催の東京大学認定再生医療等専門委員会及び3月16日開催の先進医療技術審査部に報告し、試験再開が承認された。この間、組み入れを中断していたため、新規患者のエントリーができなかった。	AMED・臨床研究・治験推進研究事業「肺がんに対するγδT細胞治療(16lk0201041h000)」研究班に、平成29年4月より、新たに8つの医療機関(三井記念病院、JR東京総合病院、聖路加国際病院、東京都済生会中央病院、東京都健康長寿医療センター、国家公務員共済組合連合会立川病院、北里大学北里研究所病院、国立病院機構東京医療センター)を追加した。これらの医療機関から患者のエントリーの促進が期待できる。 また、東京大学医学部附属病院 免疫細胞治療学講座のホームページ改修を行い、先進医療に関わる、肺がん患者向けページ及び一般肺がん専門医向けページの開設を行った。また協力医療機関専用ページを開設し、連携を強化した。今後は、他院からの候補患者紹介がより活発になることが期待できる。	5件	19件
17	C型肝炎ウイルスに起因する 肝硬変に対する自己骨髄細胞 投与療法 (C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変)	山口大学医学部附属病院	今年度は該当する患者がいなかったため。	引き続き情報発信を行い、患者のリクルートを進めていく。	1件	3件

告示 番号	技術名	申請医療機関名	0件の理由	医療機関の今後の対応方針	(参考) 昨年度の実績 (実施可能である すべての医療 機関の実績)	(参考) 直近5年間又は 承認後の実績 (実施可能である すべての医療 機関の実績)
39	上肢カッティングガイド及び上肢 カスタムメイドプレートを用いた 上肢骨変形矯正術 (骨端線障害若しくは先天奇形に 貴院する上肢骨)	大阪大学医学部附属病院	予定症例16例の手術実施が終了し、観察期間に入っているため。		13件	16件
64	ゲムシタビン静脈内投与、ナブ- バクリタキセル静脈内投与及び バクリタキセル腹腔内投与の 併用療法 (腹膜播種を伴う膵臓癌)	東京大学医学部附属病院	実施体制の確立に時間を要したため。	2017年8月の先進医療技術審査部会に実施体制の変更申請を申請し承認されれば、症例登録を開始する予定である。	- (平成28年10月1日 告示)	-
66	陽子線治療 (肝内胆管がん)	筑波大学付属病院	リンパ節、遠隔臓器などの肝臓外転移のない肝内胆管癌患者は少ないうえに、今年に入ってから肝内胆管癌患者の紹介が少ないことが原因と思われる。	近隣の施設からのリクルートに力を注ぐ	- (平成28年11月1日 告示)	-
69	ヒトIL-11製剤を用いた心筋保護療法 (ST上昇型急性心筋梗塞)	大阪市立大学医学部 附属病院	米国ファイザー社から輸入し使用する予定の試験薬が製造中止となり、入手できなくなったため。代替薬として、ICH-GMP対応のバイオシミラーの入手の可否について、米国、カナダ、EU、オーストラリアを対象に調査したが、いずれの国においても製造販売がされていないとのことであった。唯一、中国Beijing SL Pharmaceutical Co Ltdから「株式会社ドクターズファーマシー」を介して入手可能であることを確認したが、同社がICH-GMPの基準を遵守している保証がなく、説明添付文書に関しても記載が曖昧と考えられた。	試験薬の入手が困難であることが判明したため、厚生労働省研究開発振興課にコンサルトをしたところ、同剤を独自にGMPレベルで製造し、同等性を確認したのち、臨床試験を行うことを目指すことを提案された。同剤の製造に関しては、神戸天然物化学に依頼し、試験製造を開始している。2017年10月末を目途に試験製造の可否を確認し、その後、大量生産に入る。製剤化に関しては、大阪大学医学部附属病院薬剤部にて行う。	- (平成29年1月1日 告示)	-
72	術後のカベシタビン内服投与及び オキサリプラチン静脈内投与の 併用療法 (小腸腺がん)	国立がん研究センター 中央病院	本技術はH29.3.15で告示された。試験開始準備に1か月ほど時間を要しH29.5.9に試験を開始している。適格条件を満たす患者は存在したが、全例で本試験への参加を拒否された。	試験の広報、協力医療機関の追加を行う。	- (平成29年4月1日 告示)	-
73	膵癌腹膜転移に対するS-1+ バクリタキセル経静脈腹腔内 投与併用療法 (膵臓癌)	関西医科大学附属病院	本試験の先進医療内容はジェネリック医薬品で構成されており、試験遂行のための資金獲得が困難な状況です。現在2017年度日本医療研究開発機構の研究資金の二次募集に応募しております。資金獲得が得られれば速やかに試験を開始する予定です。	日本医療研究開発機構での研究資金獲得	- (平成29年4月1日 告示)	-
75	陽子線治療 (根治切除が可能な肝細胞がん)	国立がん研究センター 東病院	先進医療会議承認後、2017年6月19日より申請医療機関にて登録を開始したが、登録開始後の期間が短く該当患者がいなかったため、6月30日時点で登録患者はない。	今後、引き続き申請医療機関にて患者登録を促進するとともに、協力医療機関の追加を進めて予定期間内に登録を完遂できるようにする。	- (平成29年6月1日 告示)	-

※「-」は昨年度未実施の
医療機関

暫定的に先進医療 A として実施している技術について

1. 背景及び現状

- 平成 20 年の先進医療告示第 2 項各号に掲げられた先進医療のうち、平成 24 年 11 月 30 日の先進医療会議において先進医療 B へ振り分けることとされた技術については、暫定的に先進医療 A（以下、「暫定 A」という。）として実施しているところ。
- 暫定 A の取扱いについては、平成 29 年 1 月 12 日に開催した本会議において審議され、以下のように決定した。

- ・ 平成 29 年 3 月 31 日までに先進医療 B への移行できなかった技術については、平成 29 年 4 月 1 日をもって先進医療告示から取り消すこととしていたが、現在、同技術を継続して実施している患者が存在している期間は告示からの取り消しを猶予してはどうか。
- ・ 新規患者の組み入れについては認めないままとし、猶予期間後の先進医療 B への移行については各医療機関の判断に任せてはどうか。
- ・ 実施している患者がいなくなった場合には、医療機関より事務局に連絡することとし、当該医療機関についてはホームページ上から削除し、全ての医療機関が削除された時点でその技術を先進医療告示から取り消すこととしてはどうか。

2. 暫定 A として実施している技術の現状について

- 暫定 A として実施している技術については、新規患者の組み入れがないこと及び継続中の患者の有無について、事務局が定期的に確認をしており、平成 29 年 11 月末時点の状況は以下のとおりである。

告示番号	先進医療技術名	平成 29 年 3 月 1 日時点	平成 29 年 11 月 30 日時点
4	骨髄細胞移植による血管新生療法	59	14
13	末梢血単核球移植による血管再生治療	1	1
16	樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	7	6
17	自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	56	23